

ラストガード 標準施工要領書

1	下地処理	<p>高圧洗浄で汚れ、油脂分、浮き膜、塩分を除去して下さい。 完全に乾燥した状態にして下さい。 錆の塊や黒皮がある場合はブラストなどで下地の錆が出るまで除去して下さい。 光沢のある塗膜が残っている場合はサンドブラストなどで目荒らして下さい。</p>
2	攪拌	<p>電動攪拌機を使用し低スピードで攪拌して下さい。 底から完全に均等になるまで攪拌を続けて下さい。</p>
3	塗装	<p><刷毛/ローラー塗装> 刷毛/ローラーで塗装する場合は、常にウェットの状態を保ち、上下左右交互に動かしてクロスを描くように塗装し、十分な塗布量を確保して下さい。 塗装完了後は刷毛及びローラーを処分して下さい。</p> <p><スプレー塗装> スプレー塗装の場合は低スピードで塗装し、十分な塗布量を確保して下さい。 塗装間隔があく場合及び塗装完了後はスプレー機を溶剤で洗浄して下さい。</p>
4	乾燥	<p>指触: 30~60分(気温21℃の場合) 完全硬化: 30日 ラストガード再塗装: 指触後1~2時間以内(注意: 気温と湿度により異なります) トップコート塗装: 4時間以上24時間以内</p>
5	膜厚	<p>錆のない鉄板、プライマーとして: ドライ膜厚65μ 塗布量140g/m² 塗布面積150m²/缶</p> <p>錆のある鉄板・木材: ドライ膜厚100μ 塗布量230g/m² 塗布面積 90m²/缶</p> <p>コンクリート・多孔性下地: ドライ膜厚125μ 塗布量300g/m² 塗布面積70m²/缶</p> <p>橋梁、封鎖材・補強材として: ドライ膜厚200μ (2回塗り) 塗布量460g/m² 塗布面積45m²/缶</p>
6	可使用時間	<p>4時間(気温21℃・湿度60%) 開封後はなるべく使い切り、残った場合は完全に密閉して下さい。</p>